

『神奈川きずなブック』活動経過報告

2011年度・2012年度上期



神奈川県市町村教育委員東日本大震災被災地
子ども支援実行委員会(通称:神奈川きずなブック)

子どもたちへ、心を込めて『本など』をお送りいたします

平成24年4月1日

神奈川県市町村教育委員東日本
大震災被災地子ども支援実行委員会

被災からの、復旧・復興のお手伝いとして、本の持つ大きな力をお届けできたらと思います。子どもたちが安心して成長していけるよう心から願っています。ぜひご連絡ください。

・企画の概要

主に小学校・中学校の児童・生徒を対象に、新品・中古を問わず、心を込めて本をお送りします。

- ご希望、ニーズに合わせてます。(種類、内容、冊数、時期、送り先等)
1口単位は50冊程度ですが、何口でも可です。
(例) 小学校低学年用児童書を、50冊程度、等。
まず、ご連絡ください。ご希望に合った本を集め、お送りいたします。
- 下記連絡先にご連絡ください。
- 送料は無料です。

○神奈川県内の市町村教育委員有志を中心に「神奈川県市町村教育委員
東日本大震災被災地子ども支援実行委員会」を組織しています。なお、こ
の活動は、神奈川県市町村教育委員会連合会の後援をいただいています。

○この活動を私たちは『神奈川きずなブック』という愛称で呼んでいます。

○「おたがいさま」の精神です。ほっとけない、お手伝いをしたい、私たちです。

・連絡先

神奈川県市町村教育委員東日本大震災被災地子ども支援実行委員会
実行委員長 武井 健一
メール: kyoiku@town.ninomiya.kanagawa.jp
TEL:0463-71-3311(二宮町役場教育総務課内)

(窓口) 井出 真理子(二宮町教育委員)
メール: marikuon@gmail.com
TEL:090-7197-7800

はじめに

1、目的 「ほっとけない」を形にしませんか？の呼びかけに端を発して、県内の教育委員有志を軸に被災地の子どもたちに本等を贈る支援を目的として生まれました。

何か被災地の復旧復興のお手伝いができないか、と思ったとき、特に心配なのが子どもたちの今とこれからでした。

本を送るというこの活動に関わってくださったのは、神奈川の子どもたちをはじめ数えきれないほどの多くの方々です。共感しながら、感謝しながら、これからも活動を続けていきたいと思えます。

2、名称 この会は、神奈川県市町村教育委員東日本大震災子ども支援実行委員会と称します。通称「神奈川きずなブック」です。

3、組織 実行委員は県内12地区、31名です。
実行委員会の役員は次のとおりです。

実行委員長	武井 健一	二宮町
副実行委員長	溝口 碩矩	相模原市
副実行委員長	小澤 一成	藤沢市
会計	小林 徳博	二宮町
監査	伊藤 祐彦	綾瀬市

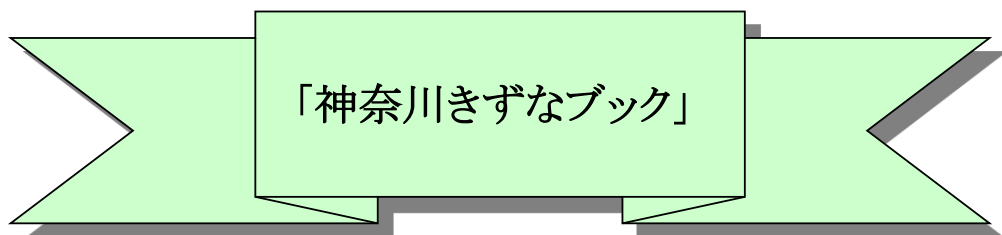
4、経過 ・2012年度も「神奈川県市町村教育委員会連合会」の後援を頂き活動しています。

・2ヶ月に1回の間隔で実行委員会を開催し、有志での会合を重ね今まで7回ほど開催しています。

実行委員も被災地の状況や現地の写真などを見たり、聞いたりするたびに活動に対する思いを強くしています。

・現在の被災地は現場を見る限り、復旧復興の形は明確に見えてこない状況です。新聞や報道などでは表せない実際の生の声が聞こえてきます。

・これからも支援を継続し被災地の子どもたちが少しでも多く本を読めるように活動を進めます。



活動実績

2011年9月～2012年12月

NO	本をお送りしたところ	本の冊数
1	岩手県大槌町の小学校1校(仮設集団授業4校分)	57
2	宮城県気仙沼市の小学校・中学校・幼稚園・保育園・児童館 19ヶ所(中古本と新本)	544
3	岩手県大船渡市の小学校1校	55
4	宮城県名取市の小学校・中学校 2校	80
5	宮城県南三陸町の小学校・中学校 8校	258
6	宮城県亘理郡山元町の小学校2校	188
7	岩手県釜石市の小学校2校・中学校1校	73
	合 計	1255

寄せられた寄付金

期間 2012年2月～2012年10月まで 1,335,208円

- ・本の購入や本の送料に充てている。
- ・現在の支出状況(現在進行中のところを含む) 987,103円

振込先

横浜銀行 二宮支店 普通6015652
口座名 神奈川きずなブック実行委員会 会長 武井健一

支援活動の事例

自分の本を持ち寄る子供たち



支援活動をする子どもたち



復興が進まない被災地例

宮城県南三陸町



23年5月4日

ガレキは手付かず、電柱だけが復旧。



24年4月30日

ガレキは片付くが建物は皆無。信号機が復活。

(転載=コピー不可。)

震災500日を経て見えてきたもの Part2

知ろう！繋がろう！忘れない！

頂戴したお礼状の数々



支援第1号 岩手県大槌町



被災4校合同で仮設校舎へ移転。グラウンドは仮設商店街に。2-30店舗が集まり「福幸きらり商店街」と銘打ち交流の場に。

ガレキが片付いても 進まない復興の現状



途切れたままの線路
大船渡駅付近から港側の市街地



電気すら復旧していない
相馬郡新地町



海まで何も無い。1m近い地盤沈下
線路まで流された陸前高田駅ホームより

復興の兆し



残った鉄骨を利用してフカヒレを乾燥する加工工場。
地盤沈下で数十センチの厚い砂利道で再開。 気仙沼港付近

鎮魂と絆



多くの児童が犠牲になった
石巻市立大川小学校（合葬）



ある絆



ゴムボートで全園児を救出？！石巻みずほ第二幼稚園（取壊予定）
Youtube検索を。【護衛艦たかなみ】救出者からの感謝の手紙

忘れない！！ 写真で知る被災地（撮影日24年5月連休）

三陸地方の主要都市である釜石、宮古、大船渡は被害状況がよく似ています。残念ですが、近づいてみると殆どの建物にペンキで×印がついています。1~2階まで津波に呑み込まれて、防災的・資産的に再利用できないようです。移転・解体に更なる時間と費用を要し、復旧に時間が掛かっています。



福島原発から北50km
(地震・津波そして原発事故)

置かれた案内看板「新地駅1km」 新地駅の海岸側
(福島県 相馬郡 新地町)

地域の誓い



次々と解体が進む市街地（釜石市東北電力支店付近）



社員と社屋を失った水道店敷地（社長作・石巻市）



高台にある小泉小学校と「津波の教え」碑

大被害の小泉地区を望む



住民の誓い！！
黄色い看板と旗があちこちに



未だ残るバスと列車の残骸

仙台市若林区 荒磯地区

<碑文> 「未来の人々に」

2011年3月11日午後2時46分。東日本大震災が起こり
大津波が太平洋沿岸に襲来した。気仙沼市小泉地区は大被害を受け
多くの命と家を失ってしまった。学んだことは「地震があったら津波が来る」
ともかく上へ上へと逃げる。こと。「てんでんこに逃げよ」その教えを伝えたい。

24.10.15

製作 果きずなブック実行委員会

支援先から届いたお礼状

平成24年3月7日

神奈川県市町村教育委員
東日本大震災被災地子ども支援実行委員会
実行委員長 武井 健一 殿

大村 ΔΔ 追北小学校
校 ○○ 子

謹啓

早春の候、貴殿におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災した本校のために、図書57冊をご提供いただきましたことに職員、児童一同深く感謝しております。

調べ学習等の図書が不足している中、本校から希望し指定いたしました本を多数取りそろえ、寄贈していただきましたので、これからの本校の教育活動の充実にとっても役立つものと喜んでおります。この本を手にした子どもたちが、目を輝かせ学習に意欲的に取り組む姿が想像され、うれしさを感じるとともに、改めて貴委員会のご厚意に感謝の気持ちでいっぱいです。

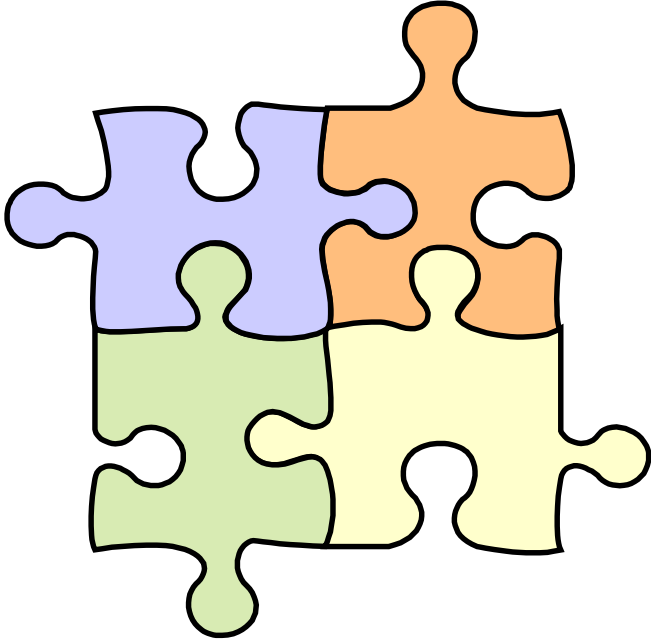
今回のご支援に際し、お世話いただきました皆様にどうぞよろしくお伝えください。

皆様の益々のご健勝と貴委員会の益々のご隆盛をお祈り申し上げ、略式ではございますが、書面をもちまして御礼申し上げます。

敬具



支援先から届いたお礼状



支援先から届いたお礼状

謹啓 初秋の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本市の行政・教育に対しまして多大のご芳情を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度は、東日本大震災において被災した児童・生徒のため、多数の図書をお寄せいただきまして、心より感謝を申し上げます。

本市は震災により沿岸部に壊滅的な被害を受け、平成24年8月8日現在で911名が亡くなり、未だに43名の方が行方不明となっております。また、沿岸部のまちである関上地区や下増田地区に居住していた児童・生徒はほとんどが仮設住宅や市内外の賃貸住宅等に居住しております。関上小学校と関上中学校は、学校が壊滅的な被害を受け使用できないことから、関上小学校は、市内陸部にある不二が丘小学校の校舎の一部を使って、関上中学校は、平成24年8月に完成した市内十三塚公園内の仮設校舎を使って授業を行っております。(関上中学校もこれまでは関上小学校同様、不二が丘小学校の校舎の一部を使って授業をしておりました。)

本市では、被災した方々が一刻も早く元の生活に戻れるよう復興へ向けた取り組みを続けております。今後も市をあげて被災した方々の生活再建・子どもたちの教育の充実・災害復興に全力で取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます、まずは略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

謹白

平成24年9月吉日

神奈川県市町村教育委員東日本大震災

被災地子ども支援実行委員会

委員長 武井 健一 様

名 取 市 長 佐々木 一十郎



名取市教育委員会教育長 丸山 春夫

